

豊里で豊里小・中学校全校遠足 学年を越えて遠足を楽しむ

今年で5回目となる豊里小・中学校全校遠足が10月7日に行われ、全校児童生徒557人が参加しました。当日は時折小雨の降るあいにくの天候でしたが、1年生から9年生（中学3年）までが縦割りで2班に分かれ、それぞれ桃生総合運動場（石巻市）と平筒沼を目的地に歩きました。移動中には、中学生が歩き疲れた小学生の低学年に声を掛けたり、手をつないで歩くなど、ほほ笑ましい光景を見ることができ、小・中学校合同の行事で学年を越えた友情がより深まった遠足となりました。



▲優しいお兄さん、お姉さんたちと一緒に、楽しい遠足

東和若草山公園の樹木に樹名板を設置 豊かな山林の自然に触れる

若草山環境整備事業の一環として、若草山みどりの会と米川小学校4～6年生が10月5日、若草山公園樹木に樹名板を取り付けました。この日は、60種の樹種に約100枚の樹名板を設置。若草山みどりの会千葉会長からのあいさつの後、6班に分かれ会員から説明を受けながら一緒に取り付け作業を行いました。子供たちからは「取り付けは難しかったけどうまく付けられて良かった」「木が赤く染まったらまた見に行きたい」などの感想があり、改めて自然の豊かさを実感するととても有意義な体験となりました。



▲皆で協力して、樹木の名前を書いた看板を設置しました

中田でひとりぐらしの敬老会 交流を通して楽しいひと時

中田町ひとりぐらしの敬老会（中田町ボランティア友の会主催）が10月8日、中田農村環境改善センターで開催されました。この事業は、町内の70歳以上の一人暮らしの高齢者を招いて、ボランティアの人々との交流を楽しんでもらおうと毎年実施されています。敬老会では、ボランティアの皆さんによる舞踊や手品など数多くの出し物が披露され、会場からは大きな拍手が送られていました。参加者は、「たくさんの人と会話をすることができ、楽しい時間を過ごせました」と笑顔で話していました。



▲出し物の手品では、市長も登壇し会場を盛り上げました



▲地域の安全・安心なまちづくりに、たのしい団体が誕生

石越で全国地域安全運動石越地区大会 みんなつくりよう安心なまち

各種防犯団体や地域の人たちが中心となり「全国地域安全運動石越地区大会」が10月16日、石越体育センターで開催されました。これは、犯罪のない安全・安心なまちづくりを目指し開催されたもので、大会では、警察署員による振込め詐欺防止の講話や、石越地区初となる女性のみの方防犯隊員22人の発隊式が行われました。大会では、「みんなで作ろう安心なまち」を合言葉に、地域一体となった防犯活動を行い、犯罪のない安心して暮らせるまちをつくらうと地域一丸となつての防犯活動を誓いました。

横山小学校で福祉体験活動 命を守る盲導犬について学ぶ

横山小学校で9月28日、日本盲導犬協会から盲導犬デモンストレーターと仙台市から視覚に障害がある寺脇さんをお招きし盲導犬体験会が開かれました。体験会では、盲導犬についての講話や寺脇さんの体験談を聞いた後、代表生徒がアイマスクをして盲導犬と一緒に歩き、指示通りに動く盲導犬に生徒たちは感心していました。体験の後は学年ごとの活動となり、視覚に障害のある人が歩行するときを使う補助具の白杖・車イス・点字・手話などを体験し、生徒たちは全員真剣に取り組んでいました。



▲歩行体験では、指示どおりに動く盲導犬の行動にみんなびっくり

南方ぼっぼクラブ「わらべうたでホッと子育て」 歌から学ぶ親子の触れ合い

南方子育てサポートセンターを利用している0歳児の親子を対象に9月28日、「わらべうたでホッと子育て」が開催され15組の親子が参加しました。事業には、仙台市在住で「宮城わらべうたの会」代表の金子きくえさんを講師に迎え、みんなで名前返事遊びをしたり子守唄を歌ったりと、わらべうた遊びを楽しみました。講師からは「赤ちゃんはお母さんのすることをよく見て真似します。上手にできたときはいっぱい褒めてくださいね」と話があり、親子で楽しいふれあいの時間を過ごすことができました。



▲赤ちゃんと一緒に、わらべ歌遊びを楽しむお母さんたち